

No.
130

社協だより

しあわせ

ふれあいネットワーク

平成26年1月1日発行

〒503-1522

岐阜県不破郡関ヶ原町大字関ヶ原894-28(陣場野)

TEL 0584-43-2943 FAX 0584-43-2180

E-mail sekigahara2943@r9.dion.ne.jp

HP <http://sekigahara-shakyo.jp>

この広報誌は、みなさまの会費及び共同募金配分金により発行しています。

社会福祉法人 関ヶ原町社会福祉協議会



ボランティア活動 あしたば会

『やる気・元気・根気』を合言葉に、さくらんぼの家周辺の草取り、畑仕事、切り干し大根づくりのお手伝いなど、さくらんぼの家支援ボランティアとしてみなさん協力して活動されています。

また、年に一度交流会が開かれ、あしたば会会員のみなさんとさくらんぼの家の所生さんたちと親睦を深めています。

主な内容

- ◆ 新春のごあいさつ
- ◆ 介護者のつどい・ひとり暮らしのつどい
- ◆ 全国社会福祉協議会会長賞 受賞
- ◆ 第14回 関ヶ原町社会福祉大会
- ◆ ボランティアセンターだより
- ◆ 福祉協力校だより「今須中学校」
- ◆ 善意のご寄附・情報あれこれ



新春のご挨拶



社会福祉法人 関ヶ原町社会福祉協議会

会長 生駒 敏幸

新年あけましておめでとうでございます。輝かしい新春を皆様方にはご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、社会福祉協議会の活動に對しまして格別なるご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、第十四回関ヶ原町社会福祉大会が開催され、社会福祉の各分野でご功績のあった方に対し顕彰させていただきました。ご功績に對し敬意を表しますとともに、さらなるご活躍を期待申し上げます。また、大会が盛会に開催できましたことは、ご協力いただきました関係各位のおかげと心より感謝申し上げます。

さて、今日の社会情勢は本格的な少子高齢化を迎え、ひとり暮らし老人をはじめ高齢者家族、核家族が増加し、地域の連帯感の薄れや価値観の多様化などにより地域社会が抱える課題は複雑化してきています。今後、関ヶ原町の高齢化率は上昇し、独居高齢者世帯が増加し、地域には判断能力の低下などにより日常生活に不安のある方が多くなると思われます。しかし、不安のある人

を少しでも手伝う。少しでもボランティアをする。少しでも募金や寄附をする。多くの人が少しでも誰かを助けることを楽しく、やりがいのあることだと考えることが出来たならば、これからの生活に不安のある人も、住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことが出来るのではないかと考えております。

社会福祉協議会では、本会が策定している地域福祉活動計画の基本理念である「お互いに助け合い 安心して暮らせる 福祉のまちづくり」の実現のため、小地域活動の推進や助け合いネットワークによる安心・安全のまちを構築することを重点とする諸事業を推進しなければならぬと思うところでございます。

本年も皆様から期待され、信頼される社会福祉協議会を目指して、役員一同努力して参りますので皆様の一層のご支援ご協力を切に願っています。最後にになりましたが、この新しい年が、皆様にとって良き年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

介護者のつどい



11月8日(金)、日頃ご家族の介護をしていらっしゃる方々を対象に、日帰りのバス旅行「介護者のつどい」を開催しました。今年は、恵那市の銀の森へ行ってきました。おいしい昼食をいただいた後、園内をのんびり散策しました。当日は、天気にも恵まれ、参加されたみなさんはたくさんおしゃべりをして、手にいっぱいのお土産を買って、気分をリフレッシュしていただけたと思います。

ひとり暮らしのつどい

11月15日(金)、70歳以上のひとり暮らしの方々を対象にした日帰り旅行「ひとり暮らしのつどい」を開催しました。今年は、33名参加され知多半島へ行きました。新鮮な海の幸をいただいた後、豊浜魚ひろばやめんたいパークとこなめに行き、みなさん両手いっぱいのお土産を買われました。「とても楽しかった。ありがとう。」とたくさんの方々から感想をいただき、この日はみなさんたくさんおしゃべりをして、笑顔いっぱいの日でした。

※この事業は、歳末たすけあい募金の配分を受けて実施しました。



全国社会福祉協議会会長賞 受賞 おめでとうございます。

11月15日(金)、東京の日比谷公会堂にて、平成25年度全国社会福祉大会が行われ、関ヶ原町在住の三輪均様が民生委員児童委員功労者として「全社協会長賞表彰」を受賞されました。

三輪さんは、民生委員児童委員として21年間にわたり、地域の相談活動や福祉活動へ積極的に取り組み、こうした長年の実績が評価され、今回の受賞となりました。心よりお祝い申し上げます。



第14回 関ヶ原町社会福祉大会

11月30日(土)ふれあいセンターにおいて、第14回関ヶ原町社会福祉大会を開催いたしました。

式典では、まず社会福祉の発展に功績のあった方々へ表彰状・感謝状が贈られました。



社会福祉協議会長 表彰・感謝 (順不同・敬称略)

表彰状贈呈者

〈民生児童委員〉	日比 幸	柏 昌孝
	藤塚 貞子	川村 明美
〈老人クラブ〉	三輪 捷一	
〈母子家庭〉	渡邊 智美	
〈介護〉	三輪 孝夫	兒玉 英子
	渡邊 七生	
〈社協役員・評議員〉	高木 優榮	桐山 靖枝
	大橋 順雄	草野 治男
〈福祉推進員〉	小寺 道子	森 正義
	高木 弘子	西脇 啓子
	木村 克子	水野 友子
〈社会福祉活動〉	三輪真木子	

感謝状贈呈者

〈社会福祉活動〉	古山ミツノ	酒井富士子
	宇都宮賢二郎	東山 正一
	河嶋 雅子	黒田 清幸
〈多額寄付者〉	多賀 健児	牧村 昭伸
	志水 勉	西脇 哲郎



講演

「笑いは百薬の長」

講師 蟹江 篤子さん(フリーアナウンサー)

今回は東海ラジオ放送「かにタク言ったもん勝ち」でお馴染みの蟹江篤子さんを講師としてお招きし、「笑いは百薬の長」と題し、講演いただきました。「暮らしの中の笑いの重要性」また、「笑いはいろいろな病気にも良い結果をもたらす」など、笑いを交えてたくさんのお話をしていただきました。

※社会福祉大会は、歳末たすけあい募金の配分を受けて開催しました。



ボランティアセンターだより NO.89

さわやか



赤十字奉仕団 皇居へ勤労奉仕

関ヶ原町赤十字奉仕団は、10月22日より皇居へ勤労奉仕に行かれました。奉仕団委員長の高木英子さんは次のように感想を語っていただきました。

10月22日から25日の4日間、皇居勤労奉仕団として皇居へ行きました。

台風接近ということもあり、奉仕作業は実質2日間、残りは皇居内を見学しました。皇居御用地内の建物、木々、園遊会会場等、普段は入ることのできない御用地の見学と説明に皆、目を奪われました。

皇居では、天皇皇后両陛下のお会釈で直接お言葉をいただき、関ヶ原町の古戦場の話をさせていただきました。東宮御所では皇太子殿下よりお言葉をいただき、赤十字奉仕団の活動内容を説明させていただきました。また、伊吹山に登られたお話をされたのでお答えしました。

そして、参加した各地区からの全奉仕団を代表して万歳三唱の音頭をとらせていただき、この上ない名誉でした。大変うれしい一生の思い出になりました。

みなさんおつかれ様でした。

募集

関ヶ原町赤十字奉仕団では、団員を大募集しています。

赤十字奉仕団は、赤十字の人道的活動を実践しようとする人々で結成された組織です。赤十字事業の推進と社会福祉推進のためにボランティア活動を繰り広げています。

年齢や性別は問いません。

入団希望・お問い合わせは社協まで 電話 43-2943

「第22回 全国ボランティアフェスティバル高知」へ

シチズンパワー
～ 時代を拓く 市民力 ぜよ ～

毎年催される全国ボランティアフェスティバル、今年は11月23・24日に高知で開催されました。関ヶ原町からはボランティア連絡協議会より5名、社協より2名が参加しました。

ウェルカム演奏・開会式のあと、住民や企業と連携した地域づくりについての全体講演がおこなわれました。そしてボランティア・トークショーなどで楽しんだあと、夕方からは場所を変えての交流会。全国からの参加者が入り交じり、お互いの活動を紹介しあったり、名刺交換などがあちこちで見られました。テーブルには高知のおいしい皿鉢料理がたくさん並び、おなかもいっぱいでした。



分科会の様子



交流会にて

また、来年の開催県は岐阜県ということで、岐阜県社協では岐阜県のマスコットキャラクター「ともにん」とともにPR隊が結成され、岐阜県クイズで賞品を出したり、会場で岐阜県の紹介をしたりして、来年にはぜひ岐阜へ、と呼びかけました。

2日目の24日は分科会が行われ、災害ボランティアについてや、ボランティアの基本についてなどの勉強会に参加しました。分科会で学んだことは団体の会員のみならずへも伝えられ、今後の活動に活かしていただけることと思います。



岐阜県社協マスコットキャラクター「ともにん」

時間の都合で、大会最後の高知県から岐阜県への引継式には参加できませんでしたが、来年は岐阜県で盛大に開催されることと思います。岐阜県社協や各市町村社協のボランティア担当職員も、来年の岐阜県での開催に向け、分科会企画など着々と準備を進めています。開催日は平成26年9月27・28日に決定しています。みなさんもぜひ、来年は「第23回 全国ボランティアフェスティバルぎふ」に参加してください。

福祉協力校だより

NO.23 今須中学校

「今須ふれあい交流会」が開催されました

11月30日(土)に「今須ふれあい交流会」を開催しました。本年度は、全校スローガン「見つけよう今須のよさ 伝えよう感謝の気持ち」のもと、地域の方を講師として招き、ふるさと今須のよさを再発見し、交流の輪を広げることを目的として活動を行いました。

参加した生徒はこの行事を通して、普段の学校生活では経験できない貴重な体験ができ、地域の一員としての自覚や、地域の中で色々な方に支えられていることを改めて実感できたと思います。

今日ふれあい交流会がありました。地域の方の発表やふれあい活動を通して、故郷のよさやすばらしさを改めて感じる事ができました。全校合唱では一緒に歌っている仲間や地域の方に届くようしっかりと歌うことができました。



「茶道体験講座」の様子です。この他7つの講座が開かれました。



児童・生徒・地域の方々と一緒に「ふるさと」を合唱しました。



地域のサークルの方々の発表を鑑賞しました。

ふくしフレンドパーク 赤い羽根共同募金に参加しました！

関ヶ原合戦祭り2013(10月19~20日の2日間)の会場において開催された「ふくしフレンドパーク」、「赤い羽根共同募金」のボランティアに本校生徒も参加しました。活動を終えて「参加してよかった」という感想を持つ生徒も多く、「福祉」について学習するよい機会となりました。

1年生では「福祉」について 学習しています

今須中学校では、1年生の総合的な学習の時間で「高齢社会に生きる」というテーマで、学習を進めています。2学期は地元の今須に目を向け、高齢者の方に元気の秘訣や生きがいなどについてインタビューやアンケートを行い、自分たちができる取組を考えています。



グループに分かれて地元で活動しておられる団体にインタビューに行ってきました。調査したことをもとに自分達で「いきいきサロン」のような活動を企画して交流の場を設けることにしました。

ふれあい会食

12月6日(金)、老人福祉センターにおいて「ふれあい会食」が行われました。ひとり暮らしのお年よりをお招きし、関ヶ原小学校5年1組のみなさんと手作りのゲームや関ヶ原カルタなどで楽しみました。お昼は、ボランティアさんによる手作りのお弁当。今回は、ひと足早くおせち料理をいただきました。午後からは、口上芸ボランティアの平尾俊博さんによる大道芸「ガマの油売り」や、甲斐次男さんによるマジックショーで楽しみました。おいしいお弁当を食べて、たくさん笑ってとても楽しい1日でした。



お赤飯、フルーツきんとん、伊達巻、みんな手作りで。

梅の花一杯増やそう会 一〇,〇〇〇円
 関ヶ原町老人クラブ連合会女性部 九,六〇一円

善意の「ご寄附」

「ご厚志ありがとうございます。」

10月16日から12月15日分まで(受付順・敬称略)

第12回 いきいきサロンのつどい開催

11月13日(水)、関ヶ原ふれあいセンターにおいて「いきいきサロンのつどい」が開催されました。約280名の方が参加され、吉本興業の岐阜県住みます芸人の方々によるお笑いステージや関ヶ原コーラス、今須西町の銭太鼓、陣場野サロンのハンドベルを披露していただきました。参加されたみなさんは、たくさん笑って、懐かしい歌と一緒に歌ったり、踊ったりとても楽しい時間を過ごされました。

※この事業は、共同募金の配分金を受けて開催しました。



しあわせ相談センター ご案内

あなたの心を軽くする...

電話、FAX、E-mailでも相談を受け付けています。どんな悩みごとでも、まずご連絡ください。

電話 0584-43-2943
 FAX 0584-43-2180
 E-mail sekigahara2943@r9.dion.ne.jp

	心配ごと相談	結婚相談	弁護士相談
1月	10日(金)	10日(金) 30日(木)	18日(土)
2月	10日(月)	10日(月) 28日(金)	15日(土)

- 開設場所/
老人福祉センター
(TEL43-2188)
ご相談は無料です。
もちろん、秘密は固く守ります。
- 開設時間/
午後1時30分〜4時

お問い合わせは社協まで。
(TEL43-2943)

ふれあい親子映画会

12月1日(日)ふれあいセンターにおいて、小学生以下の親子を対象にした「ふれあい親子映画会」を開催しました。当日は、たくさんの方々に来場していただき、親子で、お友達どうしてと、とても楽しい日を過ごしました。

※この事業は、歳末たすけあい募金の配分を受けて開催しました。